管機連Daily News

2026年9月28日（月）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆記録的な日照不足、東京は平年比3割 収穫遅れ・体調不良にも注意

・断続的に続く雨や台風の影響で、全国で記録的な日照不足となっている。東京都内では9月中旬までの日照時間は平年の3割にとどまる。農作物の収穫が遅れ、行楽シーズンの紅葉の見頃に影響が出る恐れがある。心身の不調にも注意が必要。気象庁によると、9月1～20日の東京都心の合計日照時間は25.2時間で、平年の29%にとどまった。

◆対日投資審査、28年度にも申請オンラインに 件数増加受け迅速処理

・政府は海外投資家の対日投資を審査する「対日外国投資委員会（日本版CFIUS）」の実務に関し、事前審査の申請受け付けを2028年度にも原則オンラインに変える。25年度の申請件数は3000件を超える。審査業務の効率向上につなげる。現在は日銀が代理窓口としてオンラインや書面で事前審査の申請を受け付け、書面提出が多い。

◆国家公務員宿舎、コスト高で新築先送り 25年度工事契約ゼロ

・財務省は国家公務員宿舎の新築計画を先送りする。2025年度に入札にかけた全4棟が契約に至らなかった。建設費の高騰が壁に。宿舎の老朽化が進めば人材確保が難しくなり、災害時などの対応にも影響を及ぼすおそれがある。25年度は東京都葛飾区、北区、静岡市、岡山市で全省庁合同の宿舎を新築する予定だった。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆電気代、東京は関西より月1342円高 中東情勢・送電コストで地域差

・電気代の地域差が拡大。中東情勢の影響で全国的に料金が上がる中、九州電力と関西電力は制度上の値上げの上限により、一定価格に据え置く。一方、北海道や沖縄は広大な土地や離島の多さで送電網整備コストがかさみ、電気代が高くなりやすい。9月使用分（10月請求分）で最も安かったのは九州電力（6876円）。関西電力（6933円）が続いた。

◆1～8月のとび工事業倒産、最多110件 売り上げ不振や担い手不足

・東京商工リサーチは2026年1～8月のとび工事業の倒産件数が110件だったと発表。前年同期比26%増で1989年以降で過去最多。売り上げ不振や若年層のとび職離れによる担い手不足が響いた。負債1000万円以上の倒産を集計。原因別では「売り上げ不振」が最も多く、78件を占めた。次いで「赤字累積」が24件で、業績不振関連が9割を占めた。

◆「若者がなりたい職業に」井林国交相、専門紙向け会見で

・井林辰憲大臣は専門紙向け会見で、住宅産業も含めた建設業の担い手確保を重要課題に挙げた。人口減少が進むなか、処遇改善や生産性向上を通じて産業の魅力を高め、「多くの人たちがなりたいと思う職業」の実現を目指す。商工会議所トップを建設業や住宅産業の経営者が務める地域も少なくないとして、「地域経済そのもの」と位置付けた。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック ハウジングソリューションズ、壁付けI型デザイン

・省スペースで効率的な動線の「壁付けI型レイアウト」のカウンターとエンドパネルを同一素材・40mm厚で一統一し、ゲート状に仕上げた美しいデザインに刷新。立ち上がりのバックガードをなくすことで壁面との境界線をシンプルにし、カウンターとの段差が少ない。



■ニチベイ、ウッドブラインド

・1本のコードで操作できる「スマートコード式」の操作部やヘッドボックスをコンパクト化して刷新。新たに「クレールタッチ」にも対応し、高窓に適した「電動タイプ マルチIR仕様」が「クレールグランツ」でも選択可能に。光漏れを抑制し意匠性とプライバシー性能が向上。



■アイカ工業、高級意匠性塗材に新シリーズ

・人造大理石特有の質感を塗材でリアルに再現し、鉱物を砕いたような風合いが重厚感を演出。塗材仕上げのため、継ぎ目がなくシームレスで美しい仕上がり。複数回の研磨が必要な人造大理石の研ぎ出し工程に比べ、省施工を実現。

